

ちょっと谷戸沢

耳で楽しむ谷戸沢処分場

美しい紅葉の季節となりました。毎年、谷戸沢処分場では「秋の谷戸沢処分場合唱団」が朝から晩まで、私たちの耳を楽しませてくれます。



「秋の谷戸沢処分場合唱団」は、ヒガシキリギリスやカネタタキなど鳴く虫が集まる合唱団です。谷戸沢処分場では草地エリアや水辺エリア、森林エリアでそれぞれの環境を好むたくさんの虫たちがとても良い音色を奏でてくれます。ちょっと、耳を澄ませてみてください。

「Please marry me! (ケッコンして!)」
って、聞こえませんか？

鳴く虫の不思議



スズムシの音色も「ケッコンして」

なぜ虫は鳴くのでしょうか？それは、オスがメスを呼ぶためです。鳴く虫のオスの翅は左右で「こすり器」と「やすり器」にわかれており、二枚の翅をこすり合わせることで音を出します。

良い音色を奏でるオスほどモテやすく、メスはどのオスにするか選びます。

え？虫の耳？ちゃんとありますよ。脚に！



あ！こんなところにも・・・秋の訪れ



テンのフンの中にはアケビのタネ

谷戸沢処分場の外周水路で、テンのフンを見つけました。(勇気を出して)よく見ると、テンのフンの中にたくさんのアケビのタネが入っているのがわかりました。

テンはアケビの実がいつどこで実るかを知っているのですね。フンからみえる“秋の訪れ”です。

谷戸沢処分場に生息する他の動物たちも、実りの秋を満喫しているのではないのでしょうか。